

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークII-I		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークII-I		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	中村 友恵	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとしてネイルサロン勤務。JNECネイリスト検定1級、ネイルサロン衛生管理士、sacraジェルエデュケーター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	

7	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ 	
8	サロンワーク技術		
9	サロンワーク技術		
10	サロンワーク技術		
11	サロンワーク技術		
12	サロンワーク技術		
13	サロンワーク技術		
14	サロンワーク技術		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅢ－Ⅰ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。			
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる			
評価基準	授業態度他30％・接客態度他40％・技術レベル30％			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級			
関連科目	ネイル教科全般			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	中村 友恵	実務経験	○	
実務内容	ネイリストとしてネイルサロン勤務。JNECネイリスト検定1級、ネイルサロン衛生管理士、sacraジェルエドゥケーター			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	

6	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習Ⅰ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	40
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。			
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。			
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40% (ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)			
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目	就職対策Ⅲ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	南城 知子 他2名	実務経験	○	
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習

7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		40
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40% (ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子 他2名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習

7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になる				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えを身につける				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅱ・施設実習Ⅰ・就職対策Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子 他3名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	・就職指導を行う目的を理解する ・就職決定までの目標設定を行う
2	言葉遣い	・言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	・自分が希望する就職先、職務内容について再確認する ・希望に向けての課題を理解する
4	自己PR	・自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	・就職活動に必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	・面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれのポイント

7	ビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスメール ・電話のマナー
8	一般常識	<ul style="list-style-type: none"> ・一般常識対策
9	商品プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
10	商品プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめ商品をピックアップし、商品紹介(プレゼン)内容を考える
11	商品プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・商品紹介(プレゼン)
13	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・前期末試験
14	SNSについて	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSのマナー ・有効的な使用方法
15	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になる				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている。				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅲ・施設実習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子 他3名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	・前期の振り返り
2	働く意義	・何のために働くか ・働く上で大切なこと
3	人間力	・社会人として求められていること ・社会人と学生との違い
4	人間力	・愛される人材とは ・感謝の気持ち

5	自分の理想像	・自分の理想とする社会人像とは
6	目標設定	・2年生後期～5年後の目標設定
7	接客マナー	・社会人として備えるべきマナーについて
8	電話応対	・電話応対の方法
9	来客応対	・来客時の対応方法
10	一般常識	・就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
11	ケースワーク①	・事例を上げ、原因と対応について考える
12	ケースワーク②	・事例を上げ、原因と対応について考える
13	テスト	・後期末試験
14	後期まとめ	・後期のまとめ、振り返り
15	総まとめ	・2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、きもの着付け3級（6月強制受験 免許強制）を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	笠原 美恵子 他2名	実務経験	○		
実務内容	着付け講師として店舗や学校での着付け指導を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する

4	小紋の着せ方 3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び 20 分）を実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意)を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する

4	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
5	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
6	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
7	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀 30 分）を実施する
11	座学 2	着物の TPO（プリント③④）について
12	小紋の着方	小紋の着方 と 名古屋帯のお太鼓結び（自装）を学び実践する また、着物の立居振舞についても学び実践する
13	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティー接客Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー接客Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる				
到達目標	自己紹介から、接客に必要な外国語を話すことができ、受け答えができるようになる				
評価基準	テスト50%、授業意欲30%、提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 由美子	実務経験		○	
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、授業目的説明
2	自己紹介	英語で自己紹介が出来るように
3	自己紹介	英語で自己紹介が出来るように
4	外国語文化について①	挨拶、リアクション、語学の違い
5	外国語文化について②	挨拶、リアクション、語学の違い
6	外国語文化について③	挨拶、リアクション、語学の違い

7	接客単語①	接客単語、化粧品英語
8	接客単語②テスト	接客単語、化粧品英語
9	カウンセリング①	メイクカウンセリング
10	カウンセリング②	メイクカウンセリング
11	数字、単位、会計	ネイティブが使う数字の読み方、アメリカで使う単位、お会計で使う英文
12	世界での美の基準、違い①	日本とは違う世界での美の基準を知る
13	世界での美の基準、違い②	日本とは違う世界での美の基準を知る
14	海外留学について	海外で活動する方法や違い
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティー接客Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー接客Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる				
到達目標	自己紹介から、接客に必要な外国語を話すことができ、受け答えができるようになる				
評価基準	テスト50%、授業意欲30%、提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	流行	海外での流行、英単語など
2	タッチアップ時の会話①	タッチアップ時に使える英文
3	タッチアップ時の会話②	タッチアップ時に使える英文
4	リスニング強化①	ネイティブの発音、略語などを覚える
5	リスニング強化②	ネイティブの発音、略語などを覚える
6	スピーキング強化①	英文を読む、話す

7	スピーキング強化②	英文を読む、話す
8	電話対応①	電話で予約を受ける
9	電話対応②	電話で予約を受ける
10	電話対応③テスト	電話で予約を受ける
11	文書の書き方①	文章・メールのやり取り
12	文書の書き方②	文章・メールのやり取り
13	雑談力①	コミュニケーションの取り方
14	雑談力②	コミュニケーションの取り方
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅠ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅠ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	カラーコーディネートⅠ・Ⅱ、ビューティーメイクⅡ-E・サロンワークⅠ-H・Ⅱ-H				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川嶋 里奈	実務経験		○	
実務内容	大手化粧品メーカー及び化粧品専門店にて、カウンセリング、化粧品販売を担当 エステティシャンとしてのサロン勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヴァンス検定詳細説明	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーション詳細説明・練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定最終確認	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
10	パーソナルカラーメイク スプリング	パーソナルカラー春タイプメイク提案・練習を行う
11	パーソナルカラーメイク サマー	パーソナルカラー夏タイプメイク提案・練習を行う
12	パーソナルカラーメイク オータム	パーソナルカラー秋タイプメイク提案・練習を行う
13	パーソナルカラーメイク ウィンター	パーソナルカラー冬タイプメイク提案・練習を行う
14	テスト	パーソナルカラー4タイプの中からモデルに似合うメイクの施術を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅡ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅡ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カラーコーディネートⅠ・Ⅱ、ビューティーメイクⅠ-E、ファッションⅡ、サロンワークⅠ-H・Ⅱ-H				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルトレンドメイク10代	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う 10代のトレンド
2	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
3	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
4	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
5	パーソナルトレンドメイク50代以降	50代以降のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
6	テスト	パーソナルトレンドメイクのテスト、年齢に合わせたメイクの提案・施術テスト

7	イベントメイク①	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
8	イベントメイク②	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
9	イベントメイク③	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
10	イベントメイク④	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
11	職業別メイク①	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
12	職業別メイク②	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
13	職業別メイク③	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
14	職業別メイク④	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブランドリサーチⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブランドリサーチⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクの業界で求められる化粧品のブランドについての知識を説明できるようにする ・化粧品ブランドと有名な製品を理解する ・ブランドの特長を理解し、各ブランドの違いを知る 				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カウンセリングⅠ・カウンセリングⅡ・ファッションⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	対馬 なつ美	実務経験	○		
実務内容	美容部員として化粧品販売に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 化粧品ブランドの種類	授業の目的目標、評価基準、授業ルール どのようなブランドがあるのか
2	国産ブランド①	資生堂について（歴史・有名なアイテム 等） 資生堂の傘下ブランドを知る
3	国産ブランド②	花王・コーセー化粧品（歴史・有名なアイテム 等） 花王・コーセー化粧品の傘下ブランドを知る
4	国産ブランド③	その他国産ブランド（ピアス 等）
5	外資系ブランド①	ELCジャパン・LVMH（歴史・有名なアイテム 等） ELCジャパン・LVMHの傘下ブランドを知る
6	外資系ブランド②	ロレアル（歴史・有名なアイテム 等） ロレアルの傘下ブランドを知る

7	外資系ブランド③	その他外資系ブランド（シャネル・マリークワント・クラランス等）
8	セミセルフブランド	FGJ・イセタンミラー・@コスメ 等 セミセルフブランドの特徴を知る 取り扱い製品の違いを知る
9	スキンケアアイテム	スキンケアの有名なアイテムを知る スキンケアの最新のアイテムを知る
10	メイクアイテム	メイクアイテムの有名なアイテムを知る メイクアイテムの最新のアイテムを知る
11	デパートコスメ	高級ブランドの特長を知る
12	プチプライスコスメ	プチプライスコスメの特長を知る
13	上半期ベストコスメ	上半期ベストコスメのアイテムを知る どのような特長があるかを研究する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブランドリサーチⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブランドリサーチⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクの業界で求められる化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける ・化粧品ブランドと有名な製品を理解する ・ブランドの特長を理解し、各ブランドの違いを知る 				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カウンセリングⅠ、カウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 化粧品ブランドの種類	授業の目的目標、評価基準、授業ルール どのようなブランドがあるのか
2	フレグランス基礎知識	フレグランスの基礎知識を知る
3	フレグランスブランド	フレグランスの有名なアイテムを知る フレグランスが有名なブランドを知る
4	韓国コスメ スキンケア編	韓国コスメの有名なスキンケアブランドを知る
5	韓国コスメ メイクアップ編①	韓国コスメの有名なメイクブランドを知る
6	ボディケア・ヘアケアブランド①	ボディケア・ヘアケアブランドを知る ボディケア・ヘアケアブランドの特長を知る

7	ボディケア・ヘアケアブランド②	ボディケア・ヘアケアブランドを知る ボディケア・ヘアケアブランドの特長を知る
8	メンズブランド	メンズ化粧品ブランドを知る メンズ化粧品の特長を知る
9	オーガニック化粧品	オーガニック化粧品について知る
10	オーガニックブランド①	有名なオーガニックブランドを知る
11	オーガニックブランド②	有名なオーガニックブランドを知る
12	ブランドマップ	ブランドの特長をまとめる
13	下半期ベストコスメ	下半期ベストコスメのアイテムを知る どのような特長があるかを研究する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カウンセリングⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	カウンセリングⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	日本化粧品検定準2級・3級テキスト、2級テキスト 2級問題集		出版社	主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける				
到達目標	化粧品販売員として必要な化粧品や皮膚構造の知識、肌悩みに合わせた化粧品選びとメイクアップテクニック、生活習慣の知識を身に付け、日本化粧品検定3級、2級を取得する。				
評価基準	検定3級：10% 検定2級：30% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本化粧品検定2級・3級				
関連科目	カウンセリングⅡ・ブランドリサーチⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川嶋 里奈	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品メーカー及び化粧品専門店にて、カウンセリング、化粧品販売を担当 エステティシャンとしてのサロン勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3級対策①	授業の流れ、到達目標について、検定について理解する まちがえがちな美容知識について学ぶ①
2	3級対策②	まちがえがちな美容知識について学ぶ②
3	3級検定実施	授業内で3級を受験する
4	2級対策①	皮膚の構造、皮膚のしくみと働きについて学ぶ
5	2級対策② 小テスト①	皮膚の構造、皮膚のしくみと働き、皮膚の機能について学ぶ ここまでの範囲の小テストを実施する
6	2級対策③	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（乾燥、尋常性挫創）

7	2級対策④	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（毛穴、しみ、くすみ）
8	2級対策⑤ 小テスト②	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（くま、しわ・たるみ） 6回目以降の範囲の小テストを実施する
9	2級対策⑥	メイクアップの基本テクニック、肌悩みに応じた化粧品の使い方を学ぶ
10	2級対策⑦	肌を劣化させる要因について学ぶ
11	2級対策⑧	紫外線が肌に与える影響について学ぶ
12	2級対策⑨	効果的なマッサージの必要性と方法、美しい肌をつくる生活習慣について学ぶ
13	2級模試①	2級模試を実施する
14	2級模試②	2級模試を実施する
15	2級受験	授業内で2級を受験する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	カウンセリングⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	日本化粧品検定準2級・3級テキスト、2級テキスト		出版社	主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品販売員として必要な知識、技術を身に付ける				
到達目標	化粧品販売員として必要な化粧品や皮膚構造の知識、肌悩みに合わせた化粧品選びとメイクアップテクニック、生活習慣の知識を身に付け、日本化粧品検定1級を任意で受験する。 化粧品販売員として必要な立ち居振る舞いやカウンセリング販売の知識を身に付ける。				
評価基準	テスト：60% 提出物：20% 意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本化粧品検定1級（任意）				
関連科目	カウンセリングⅠ、ブランドリサーチⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1級試験対策①	化粧品の歴史、スキンケア化粧品の原料と基礎知識について学ぶ
2	1級試験対策②	メイクアップ化粧品の原料と基礎知識について学ぶ
3	1級試験対策③	化粧品にまつわる効能や表示のルールを学ぶ
4	カウンセリング販売の基本	お客様とコミュニケーションをとり、悩みに対する最適な解決策と商品を提案する方法を学ぶ
5	年代別カウンセリング販売①	10～20代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
6	年代別カウンセリング販売②	30～40代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ

7	年代別カウンセリング販売③	50～60代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
8	スキンケアブランドタッチアップ	スキンケアブランドのタッチアップ方法を身に付ける
9	メイクブランドタッチアップ	メイクブランドのタッチアップ方法を身に付ける
10	タッチアップトレーニング① 実技テスト①	アイメイククレンジングとアイメイクリタッチをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
11	タッチアップトレーニング② 実技テスト②	ベースメイククレンジングとベースメイクリタッチをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
12	タッチアップトレーニング③ 実技テスト③	クレンジングからフルメイクをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
13	SNSを活用した販促	Instagram、TikTokなどのSNS広告を作成する
14	ビジュアルマーチャンダイジング	百貨店、化粧品専門店等でのビジュアルマーチャンダイジング（店頭ディスプレイ）を学ぶ
15	販促コンテスト	SNSとビジュアルマーチャンダイジングの販促コンテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	クリエイティブヘアメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	クリエイティブヘアメイクⅠ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と知識を身に付ける。様々なヘアメイクが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ファッションⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小田中 恵美子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内にて、ヘアメイクとして5年勤務。パーソナルメイク講師歴15年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラー・ヘアアイロンなど)/振り返り
2	テーマに合わせたヘアスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(導入・練習)
3	テーマに合わせたヘアスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(練習)
4	テーマに合わせたヘアスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(ミニテスト・振り返り)
5	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
6	夜会巻①	夜会巻・本夜会(導入・練習)

7	夜会巻②	夜会巻・本夜会(練習)
8	夜会巻③	重ね夜会・本夜会(ミニテスト・振り返り)
9	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
10	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
11	洋装③	ブライダルメイクの基本(お色直し・ドレス別)
12	洋装④	テスト、振り返り
13	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	クリエイティブヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	クリエイティブヘアメイクⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と知識を身に付ける。様々なヘアメイクが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ファッションⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル①	前期の振り返りを含めトレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
5	年代別のメイク①	年代別 50
6	年代別のメイク②	年代別 70、80

7	年代別のメイク③	年代別 90、2000
8	年代別のメイク④	年代別の技術まとめ テスト、振り返り
9	卒業制作①	卒業制作(実践)
10	卒業制作②	卒業制作(実践)
11	卒業制作③	卒業制作(実践)
12	卒業制作④	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ファッションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ファッションⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	1	15	
使用教材	スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等)共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社	合同会社コンデナスト・ジャパン 株式会社モード・エ・モード社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブランドリサーチⅠ、クリエイティブヘアメイクⅠ、ビューティーメイクⅠ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小田中 恵美子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内にて、ヘアメイクとして5年勤務。パーソナルメイク講師歴15年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	服の歴史について③	服の成り立ち(中世～近代)
5	服の歴史について④	服の成り立ち(中世～近代)
6	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史

7	コレクションについて②	コレクションブランドについて（シーズンサイクルなど）
8	コレクションについて③	オートクチュール
9	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
10	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
11	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
12	テスト	テスト
13	トレンドについて②	トレンド研究を行う
14	トレンドについて③	トレンド研究を行う（ペアまたはグループ発表）
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ファッションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、 雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社	合同会社コンデナスト・ジャパン 株式会社モード・エ・モード社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブランドリサーチⅠ・Ⅱ、クリエイティブヘアメイクⅡ、ビューティーメイクⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール メイクとファッションの繋がり
2	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
3	ファッションデザイナー②	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
4	ファッションから見るメイクの分析①	ファッションごとのメイクを分析する(ワークシートでグループワークを行い発表)
5	ファッションから見るメイクの分析②	ファッションごとのメイクを分析する(ワークシートでグループワークを行い発表)
6	ファッションから見るメイクの分析③	ファッションごとのメイクを分析する(ワークシートでグループワークを行い発表)

7	ファッションから見るメイクの分析④	ファッションごとのメイクを分析する（ワークシートでグループワークを行い発表）
8	ファッションから見るメイクの分析⑤	ファッションごとのメイクを分析する（ワークシートでグループワークを行い発表）
9	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
10	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
11	テスト	テスト
12	ブランドプロデュース	今までの学習を活かして自分のブランドを作る
13	ブランドプロデュース	今までの学習を活かして自分のブランドを作る
14	ブランド発表	自分のブランドを発表
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークI-H		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークI-H		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式	出版社	なし		

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクI-E・II-E・I-F・II-F				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西城 真衣子 他1名	実務経験	○		
実務内容	外資系メーカーの美容部員として11年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	自己紹介・授業目的・目標・ゴール・評価基準について
2	1年次復習	施術確認
3	サロンワーク技術練習	モデラー作り(業界研究) 悩み改善メイク
4	サロンワーク技術練習	店舗作成に向けて 売上・原価・利益・収入・支出の理解・要望メイク
5	サロンワーク技術練習	サロンマナー・クレーム対応について カウンセリング・カウンセリングメイクについて
6	サロンワーク技術練習・テスト	テスト・要望メイクORカウンセリングメイク

7	サロンワーク技術練習	Beautyショー準備
8	サロンワーク技術練習	Beautyショー準備
9	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成・メニュー技術練習
10	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成・メニュー技術練習
11	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成・メニュー技術練習
12	サロンワーク技術練習・テスト	テスト・メニューメイク
13	サロンワーク技術練習	模擬サロンへ向けての準備
14	サロンワーク技術練習	模擬サロン
15	振り返り・総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-H		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-H		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクⅠ-E・Ⅱ-E・Ⅰ-F・Ⅱ-F				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションとして行う 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法な様々な視点からチェックを行う 基本的には外部の方をお客様として招き、サロンを運営することを目的とする サロンメニューやアートデザインだけではなく、集客方法やフライヤー作成などすべての運営を考案する Beautyショーの内容を授業で行い「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける レポート提出を必須とする
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	

5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習・テスト	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションとして行う ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法な様々な視点からチェックを行う ・基本的には外部の方をお客様として招き、サロンを運営することを目的とする ・サロンメニューやアートデザインだけでなく、集客方法やフライヤー作成などすべての運営を考案する ・Beautyショーの内容を授業で行い「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける ・レポート提出を必須とする
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	サロンワーク技術練習	
15	振り返り・総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅠ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅠ-F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ビューティーメイクⅡ-F、カラーコーディネートⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-H・Ⅱ-H				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川嶋 里奈	実務経験		○	
実務内容	大手化粧品メーカー及び化粧品専門店にて、カウンセリング、化粧品販売を担当 エステティシャンとしてのサロン勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アドヴァンス検定詳細説明 対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーション詳細説明・練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定最終確認	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
10	パーソナルカラーメイク スプリ ング	パーソナルカラー春タイプメイク提案・練習を行う
11	パーソナルカラーメイク サマー	パーソナルカラー夏タイプメイク提案・練習を行う
12	パーソナルカラーメイク オータ ム	パーソナルカラー秋タイプメイク提案・練習を行う
13	パーソナルカラーメイク ウィン ター	パーソナルカラー冬タイプメイク提案・練習を行う
14	テスト	パーソナルカラー4タイプの中からモデルに似合うメイクの施術を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅡ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅡ-F		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクⅠ-F、カラーコーディネートⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-H・Ⅱ-H				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルトレンドメイク10代	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 10代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
2	パーソナルトレンドメイク10代	10代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
3	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
4	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
5	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
6	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う

7	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
8	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
9	パーソナルトレンドメイク50代以上	50代以上のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
10	パーソナルトレンドメイク50代以上	50代以上のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
11	テスト	パーソナルトレンドメイクのテスト、年齢に合わせたメイクの提案・施術テスト
12	イベントメイク①	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
13	イベントメイク②	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
14	イベントメイク③	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スチールヘアメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	スチールヘアメイクⅠ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・カメラ機材		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする				
到達目標	作品をイメージして形にすることができるようになる。作品全体を意識したトータルコーディネートができるようになる。メイクの応用力を身につけ、技術の幅を広げる。写真の映えさせ方やそのためのヘアメイクを学ぶ。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ・Ⅲ、アーティストメイクⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩瀬 理奈	実務経験	○		
実務内容	フリーカメラマンとして、モデル撮影などで活躍				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション スチールヘアメイクとは	オリエンテーション（スチールヘアメイクの流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について） 授業の目的目標、評価基準、授業ルールカメラを使ってみよう
2	白バック紙&黒バック紙にて 撮影ヘアメイク①	バック紙の導入と照明の組み立て方、照明の見え方 室内撮影
3	白バック紙&黒バック紙にて 撮影ヘアメイク②	ライティング復習
4	白バック紙&黒バック紙にて 撮影ヘアメイク③	スタジオでライティングを意識して撮影してみよう
5	復習・実践強化	前回の撮影で照明で色飛びしやすい箇所の強化メイク ブランドコンセプトを理解したメイク実践
6	復習・小テスト	小テスト

7	テーマ決め	今まで学んだ内容で自分で作りたい作品イメージの構想 役割決め
8	作品作り	それぞれのテーマに沿ってメイク実践・撮影・POP作り
9	ブランドイメージ作品	ブランドをコンセプトに作品作り準備・実践・文字入れ
10	実践・クリエイティブ	Beautyショーに向けて決まっているテーマのクオリティをUPする
11	ブランドイメージ作品復習	前回の撮影で照明で色飛びしやすい箇所の強化メイク ブランドコンセプトを理解したメイク実践
12	作品イメージの構築	前回の反省点を踏まえて実際に作品作り、撮影
13	テスト	テスト
14	メイクテスト	7月実施作品に対するフィードバックとテスト
15	総合授業	総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スチールヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	スチールヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・カメラ機材		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする				
到達目標	作品をイメージして形にすることができるようになる。作品全体を意識したトータルコーディネートができるようになる。メイクの応用力を身につけ、技術の幅を広げる。写真の映えさせ方やそのためのヘアメイクを学ぶ。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ・Ⅲ、アーティストメイクⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	7つのファッションスタイル	好きなファッション、似合うファッションを考える
2	模写メイク①	雑誌の1ページのようにそっくりそのまま模写メイクを行う
3	模写メイク②	デッサンシート完成、ヘアメイク練習
4	模写メイク③	相モデルで模写メイクから撮影まで行う
5	模写メイク④	相モデルで模写メイクから撮影まで行う
6	模写メイク⑤	コラージュ作成、発表

7	フォトセッション①	デッサンシートの作成 デッサンシートに基づいたヘアメイク実践
8	フォトセッション②	デッサンシートの作成 デッサンシートに基づいたヘアメイク実践
9	フォトセッション③	テーマに基づいたヘアメイク実践から撮影
10	フォトセッション④	テーマに基づいたヘアメイク実践から撮影
11	卒業制作①	卒業制作（導入、実践）
12	卒業制作②	卒業制作（実践）
13	卒業制作③	卒業制作（実践）
14	卒業制作④	卒業制作（実践、振り返り）
15	総合授業	前期授業振り返り、作品制作の取り組みやヘアメイクの仕上がりを発表する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社LenS creative	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	アーティストメイクⅠ・Ⅱ、ブライダルメイクⅠ・Ⅱ、スチールヘアメイクⅠ・Ⅱ、特殊メイクⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 嘉代	実務経験		○	
実務内容	仙台市内の結婚式場にて、ヘアメイク担当歴17年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)

7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社LenS creative	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	アーティストメイクⅠ・Ⅱ、ブライダルメイクⅠ・Ⅱ、スチールヘアメイクⅠ・Ⅱ、特殊メイクⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
2	新日本髪②	新日本髪(練習)
3	新日本髪③	新日本髪(練習)
4	新日本髪④	新日本髪(テスト・振り返り)
5	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
6	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)

7	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
8	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
9	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
10	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
11	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣
14	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト) 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 一般社団法人日本化粧品検定協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みを解消できるようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	BAの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
4	化粧品と法律 (医薬部外品等)、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ

8	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
9	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ゼクシィ		出版社	株式会社リクルート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドヴァンス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	荒井 清香	実務経験		○	
実務内容	結婚式場でブライダルメイクを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識 コラージュ作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論

7	洋装⑤	テスト、振り返り
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク
9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク
10	白ドレス～色ドレス～までの流れ	ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
11	お色直しの基本知識	和装 →洋装 一連の流れの実習 (導入、実践)
12	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
13	着物ヘアメイク①	着物スタイル
14	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ゼクシィ		出版社	株式会社リクルート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドヴァンス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
2	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
3	和装③	色打掛・引き振袖(黒)
4	和装④	色打掛・引き振袖(黒)
5	和装⑤	白無垢化粧
6	和装⑥	白無垢化粧

7	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
8	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
9	テスト	テスト、振り返り
10	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
11	卒業制作②	卒業制作(実践)
12	卒業制作③	卒業制作(実践)
13	卒業制作④	卒業制作
14	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドヴァンス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ・Ⅲ、アーティストメイクⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	安藤 美穂	実務経験		○	
実務内容	国内化粧品メーカー美容部員教育業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する

7	舞台メイク④	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践
9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドヴァンス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ・Ⅲ、アーティストメイクⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
2	アニマルメイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
3	アニマルメイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
4	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
5	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
6	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践

7	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
8	ボディペイント①(ボディジュエリー)	テーマに基づいたメイクの導入・実践
9	ボディペイント②(ボディジュエリー)	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
10	ボディペイント③(ボディジュエリー)	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
12	卒業制作②	卒業制作(実践)
13	卒業制作③	卒業制作(実践)
14	卒業制作④	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅠ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる技術を総合的に身につける。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	特殊メイクⅠ・Ⅱ、スチールヘアメイクⅠ・Ⅱ、ヘアアレンジⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 由希	実務経験	○		
実務内容	外資系化粧品メーカー美容部員兼メイクアップアーティスト、フリーメイクアップアーティストとして活躍。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)

7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)
8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる技術を総合的に身につける。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	特殊メイクⅠ・Ⅱ、スチールヘアメイクⅠ・Ⅱ、ヘアアレンジⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクの歴史	授業の目的目標、評価基準、授業ルール確認 古代～中世～近代のメイクについて(時代背景や特徴について)
2	年代別のメイク①	年代別 20、30、40
3	年代別のメイク②	年代別 50
4	年代別のメイク③	年代別 60
5	年代別のメイク④	年代別 70、80
6	年代別のメイク⑤	年代別 90、2000

7	年代別のメイク⑥	年代別 2010
8	年代別のメイク⑦	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
10	卒業制作②	卒業制作(実践)
11	卒業制作③	卒業制作(実践)
12	卒業制作④	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】 カメラ機材 【ファッション】 スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社	合同会社コンデナスト・ジャパン 株式会社モード・エ・モード社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】 写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によつての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】 ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩瀬 理奈	実務経験		○	
実務内容	フリーカメラマンとして、モデル撮影などで活躍				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習

7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせてテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】 カメラ機材 【ファッション】 スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社	合同会社コンデナスト・ジャパン 株式会社モード・エ・モード社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】 写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によってはの注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】 ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール

7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	テスト	テスト
13	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
14	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-D		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	実技試験60%/授業態度・提出物など40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う。また、スタッフの資格取得の講習、指導を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)、広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習

4	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
5	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振り返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-D		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。				
評価基準	実技試験60%/授業態度・提出物など40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備

2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ-B・Ⅲ-B・Ⅱ-C・Ⅲ-C、プロボディⅡ・Ⅲ、サロントリートメントⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-D・Ⅱ-D、エステティック総論Ⅰ-B・Ⅱ-B、フェイシャル&ボディ、スパセラピーⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子 他1名	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う。また、スタッフの資格取得の講習、指導を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について(ボディ)
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について(フェイシャル)
4	体のバランスと肥満	姿勢の判断やその特徴・体系タイプについて 内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階 水分滞留の判定 成績評価①
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導

7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導
8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ-B・Ⅲ-B、プロボディⅡ・Ⅲ、サロントリートメントⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-D・Ⅱ-D、アロマセラピーⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価①
2	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
3	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
4	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	

5	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価①
6	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
7	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
8	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
9	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
10	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
11	筆記試験	成績評価② 筆記試験模試
12	AJESTHE上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	AJESTHE上級試験範囲
13		コンサルテーション 口頭試問
14		実技試験範囲 補填
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエータ化粧品 セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・Ⅲ、エステティック総論Ⅰ-B・Ⅱ-B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	玉川 明美	実務経験		○	
実務内容	大手サロンにてエステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロントリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論/タラソセラピーとは歴史・効果・注意・禁忌事項・応用 タラソパック デモンストレーション・実技演習
3		ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
4	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは(歴史・効果)/リンパ液・リンパ節について
5		理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部

6	総合まとめ	成績評価① 筆記テスト（タラソセラピー、リンパドレナージュ）
7	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
8		
9		
10	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
11	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナル・スウェディッシュマッサージ練習
12		
13		
14	実技テスト	成績評価②実技テスト（スウェディッシュマッサージ）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエーション化粧品 セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・Ⅲ、エステティック総論Ⅰ-B・Ⅱ-B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	オリエンテーション ペディキュア デモンストレーション・練習

2		
3	ペディキュア	ペディキュア練習
4		
5	東洋医学カップリング	理論/東洋医学（西洋医学との違い・経絡・経穴）
	リフレクソロジー	基本手技/カップリング
6	ポドロジー	理論/リフレクソロジー・ポドロジー
		基本手技/東洋式・西洋式
7		
	ストーンセラピー	理論/ストーンセラピー
8		基本手技/ストーンセラピー
9	代替療法	インド伝統医学の考え方と療法（理論）
10	アーユルヴェーダー	アーユルヴェーダーマッサージ（実技）
11		
12	AJESTE上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
	エステティシャン試験対策	
13		
14	トリートメント総合	トリートメント総合 成績評価④筆記テスト（リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダー）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ-B・Ⅱ-B・Ⅰ-C・Ⅱ-C、スパセラピーⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	戸上 式子	実務経験		○	
実務内容	大手エステティックサロンにて14年勤務。お客様への施術、社員教育業務担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について

3		
4	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5		
6	ボディ電気機器	サクシヨン 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7	サクシヨン	
8	AEA上級	
9	エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
10		
11	ボディ電気機器	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12	G5	
13		ボディ機器 総合復習
14	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論Ⅰ-B・Ⅱ-B・Ⅰ-C・Ⅱ-C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習（腕・足） 成績評価① 脱毛試験
3		
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

6		
7	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し
8	クライアント実習	カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習
9		wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
10		
11	AJESTE上級 エステティシャン	【試験練習】
12	試験対策	・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習（脱毛含む）
13		成績評価② 模擬試験
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルII-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルII-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編I 理論編III AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論I-B・II-B				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	小野 友美	実務経験		○	
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンなどを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマセラピーインストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を活かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）

3	AEA上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
4	エステティシャン 試験対策	
5		
6	AEA模擬試験	成績評価①
7	フェイシャル電気機器	イオントフォレーゼ・デイスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→電気学 ポディ→ガルバニック)
8	直流電流	
9	フェイシャル電気機器	パター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→解剖生理学 ポディ→サクション)
10	サクション	
11	フェイシャル電気機器	高周波 (直接法・間接法・閃光法) 実技理論・デモンストレーション含む
12	高周波	
13	フェイシャル総合授業	成績評価②
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルIII-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルIII-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・ コンサルテーション・エステティック機器 ・ ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ-B・Ⅱ-B				
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ 6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	【3コマ】カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト

4	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
5	スウェデッシュマッサージ練習	デモンストレーション・実践
6	AJESTHE上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
7	エステティシャン 試験対策	
8		
9	模擬試験	成績評価③
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル アフターカウンセリング
11		
12		
13		
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価④
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅡ - C		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ-C・Ⅱ-C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高松 真紀子	実務経験	○		
実務内容	宮城県内トータルビューティーサロンを経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅡ オリエンテーション	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
4	スウェディッシュマッサージ導入	デモンストレーション
5	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォーゼ・ディスプレイクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む

6	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む
7		
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
9		
10	フェイシャル電気機器 サクション	パター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→解剖生理学 ボディ→サクション
11		
12	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
13		
14	フェイシャル機器総合	成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ - C		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ-C・Ⅱ-C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器・ディー プクレンジング	カウンセリングシート作成（選択理由・目的・効果） 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法
4		ディープクレンジングの肌別選択・目的
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

6	技術力確認試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
7		
8		
9		
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ アフターカウンセリング
11		
12		
13		
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-B		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合(資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ-B・Ⅲ-B、サロントリートメントⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-D・Ⅱ-D、エステティックカウンセリングⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子	実務経験		○	
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う。また、スタッフの資格取得の講習、指導を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価①

7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8		
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官の構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14	筆記試験	模擬試験 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - B		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ / AEAテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ-B・Ⅲ-B、サロントリートメントⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-D・Ⅱ-D、エステティックカウンセリングⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期の振り返り
2	脱毛学	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
3	※プロボディⅡにて実技導入	・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気

4		
5		
6	認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
7		
8		
9	筆記試験	成績評価③ AJESTHE上級 模試
10		
11		AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション
12	認定上級E 実技対策	口頭試問 実技試験対策
13		成績評価④ ケースワーク
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-C		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 AEAテキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 (ヒーリングエステ専攻対応) アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験60% (内アロマ検定1級合否含む) /小テスト20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピーⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野 友美	実務経験	○		
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンなどを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマセラピーインストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を活かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次 総合まとめ	オリエンテーション・検定対策 Chapter1 アロマセラピーの基本・Chapter5 アロマセラピーのメカニズム
2	1年次 総合まとめ	Chapter2 きちんと知りたい精油のこと
3	1年次 総合まとめ	Chapter3 アロマセラピーの安全性 Chapter4 アロマセラピーを実践する
4	1年次 総合まとめ	Chapter6 アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア
5	1年次 総合まとめ	Chapter7 アロマセラピーの歴史をひもとく

6	1年次 総合まとめ	Chapter 2 きちんと知りたい精油のこと（切っても切れない精油と環境の深い関係）
7	1年次 総合まとめ 筆記試験	成績評価① 総合まとめ
8	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト1
9	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト2
10	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト3
11	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト4
12	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト5
13	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト6
14	筆記試験	成績評価② 精油プロフィールまとめ
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - C		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 A E A テキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 (ヒーリングエステ専攻対応) アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験40%/小テスト20%/アロマ検定1級合否20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピーⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	アロマ4検定筆記対策	検定練習問題
4	アロマ検定筆記対策	検定練習問題

5	東洋医学	東洋医学とは 陰陽五行説について
6		五臓六腑について・気・血・水／八綱病証・外因・内因
7	ロミロミ	ロミロミとは
8		マッサージの特徴・有益性・効果
9	フラワー・レメディ	フラワーレメディとは
10	筆記試験	成績評価①
11	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダの歴史・考え方・体質判断について・食事・生活・その他 ドーシャバランスについて
12	カラーセラピー	カラーセラピーについて (効果・特徴) オーラソーマについて・カウンセリング
13		色の言語 ・ カウンセリング
14	筆記試験	色の言語 ・ 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・ スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き。 ・ 心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピーⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野 友美	実務経験		○	
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンなどを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマセラピーインストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を活かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	前期の振り返り
2	1. スキンタッチと効果 ※カウンセリングと連携	感覚器としての皮膚・スキンタッチの重要性 エステティックマッサージとその心理的効果
3	精油紹介① (ホメオスタシス)	トリートメント用 ブレンドオイル作り
4	2. 脳の誕生と進化・機能 (ホメオスタシス)	ヒトの脳・脳と心
5	精油紹介② (ホメオスタシス)	シアバタークリーム作り

6	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脳の基本構造 各部の役割（大脳皮質・間脳脳幹・小脳）
7		脊髄の構造と働き 末梢神経の種類・神経の伝達経路
8	4. ホメオスタシス ※カウンセリングと連携	外部環境への適応 ホメオスタシスの三角形の各メカニズム
9	精油紹介③ (ホメオスタシス)	ハンガリアンウォーター・化粧水作り
10	5. ストレス ※カウンセリングと連携	ストレスとその正体・ストレスとホメオスタシス・病気 ストレスと上手に付き合う方法・職場とストレス 成績評価①
11	精油紹介④ (ホメオスタシス)	手作りせっけん・石けん素地
12	6. 心と肥満のかかわり ※カウンセリングと連携	肥満の要因・思春期の肥満・女性の肥満
13	アロマ1級範囲 復習 ①	アロマセラピーと環境・植物が育んだ生命・身のまわりにある植物と香り アロマセラピーの源流・精油が心身に作用する経路
14	アロマ1級範囲 復習 ②	植物と共に生きてきた私たちの歴史/いま地球が抱えるさまざまな難問1人ひとりができることから～未来の子どもたちのため 成績評価② 模擬試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E A テキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・ スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・ 心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合否20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピーⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価③

4		ウスベニアオイ
5	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	エキナセア
6		エルダーフラワー
7	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	セントジョワンズワート ハーブ以外の材料
8		ネットル・安全に使用するために メディカルハーブの効果と仕組み筆記試験 成績評価④
9	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	・ダンディライオン・ラズベリールーフ・ジャーマンカモミール／パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張
10		・リンデン ・ハーブを利用するための様々な方法(湿布) ・花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)
11		・ジャーマンカモミール(復習)・ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の予防 ・ハイビス カス／マテ ・スポーツ前の集中力と持続力のアップ
12		マルベリー／ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷
13		・不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ペットのケア(ペパーミント) ・二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)
14	風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスベニアオイ・ジャーマンカモミール)	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピーⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー			
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。			
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目	エステティック総論Ⅰ-C・Ⅱ-C、アロマセラピー総論Ⅰ・Ⅱ、プロボディⅡ・Ⅲ、エステティックカウンセリングⅡ・Ⅲ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	南城 知子	実務経験	○	
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う。また、スタッフの資格取得の講習、指導を担当している。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	2コマ：オリエンテーション 2コマ：ペディキュア デモンストレーション

2		ペディキュア デモンストレーション・練習
3	ペディキュア	リフレクソロジー反射区《理論》 手技（親指の使い方）反射位置・効果・注意点・ペディキュア練習
4	リフレクソロジー	台湾式フットマッサージ《理論》・フットケアについて 疾病・道具・フットバス・足の観察・相モデルで練習・ペディキュア練習
5		リフレクソロジー・ペディキュア 成績評価①
6	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
7		オリジナルマッサージ デモンストレーション
8	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ 練習
9		オリジナルマッサージ 練習
10		オリジナルマッサージ 練習
11	ロミロミ アロマセラピー	プレ・前操作・ブレンディング 背部
12		下肢背面・下肢全面・ブレンディング
13		腹部・デコルテ・頭部・ブレンディング
14		ブレンディング コンサルテーション・的確な部位のマッサージ～クロージング 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピーⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエーション化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/授業態度・提出物など20% エステ研修試験結果20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論Ⅰ-C・Ⅱ-C、アロマセラピー総論Ⅰ・Ⅱ、プロボディⅡ・Ⅲ、エステティックカウンセリングⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		

3	タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
4		タラソパック デモタラソの活用実技 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パック
5	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュ マッサージ)	ホット・コールドホットストーンの歴史 チャクラとは?チャクラの位置
6		前操作～腰背部～下肢後面 のデモンストレーション・練習
7		仰向けへのセット～下肢前面・腕・デコルテのデモンストレーション・練習
8		成績評価①
9	脱毛(実技理論含む)	脱毛理論(全体で6時間) 禁忌・注意事項など
10		脱毛理論・実技・最新脱毛機器について
11	アーユルヴェーダ	背中～腕のデモンストレーションと練習 背中～腕の練習
12		脚後面のデモンストレーションと練習 脚後面の練習
13		上半身前面のデモンストレーションと練習 上半身前面の練習
14		カウンセリング～マッサージ (体質判定・オイル選び・部位選択) 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、コンテストⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	元長 美紀	実務経験		○	
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエドゥケーター、jewelryjelエドゥケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復習
2	JNEC 2級検定の振り返り ジェル中級対策①	JNEC 2級の振り返り ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策②	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策③	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策④	ジェル中級に向けて実技練習
6	ジェル中級対策⑤	ジェル中級に向けて実技練習

7	JNEC 1 級対策① または ジェル中級対策⑥	JNEC 1 級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC 1 級対策②	JNEC 1 級検定のセッティング及び流れを覚える
9	JNEC 1 級筆記模擬試験・対策	1 級試験 筆記試験対策
10	JNEC 1 級対策③	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC 1 級対策④	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC 1 級対策⑤	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技対策	筆記テスト 実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、コンテストⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC 1級対策①	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
2	JNEC 1級対策②	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC 1級対策③	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	ジェル上級対策①	ジェル上級に向けて実技練習
5	ジェル上級対策②	ジェル上級に向けて実技練習
6	ジェル上級対策③	ジェル上級に向けて実技練習

7	ジェル上級対策④	ジェル上級に向けて実技練習
8	ジェル上級対策⑤	ジェル上級に向けて実技練習
9	ジェル上級対策⑥	ジェル上級に向けて実技練習
10	ジェル上級対策⑦	ジェル上級に向けて実技練習
11	ジェル上級対策⑧	ジェル上級に向けて実技練習
12	実技練習	振り返りの実施
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト60%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、コンテストⅡ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬場 美奈	実務経験	○		
実務内容	美容室でネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営JNA本部認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて実技練習
2	JNEC1級対策①	1級検定のセッティング及び流れを覚える
3	JNEC1級対策②	1級検定のセッティング及び流れを覚える
4	JNEC1級対策③	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
5	JNEC1級対策④	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
6	JNEC1級対策⑤	JNEC1級検定に向けての実技練習

7	JNEC 1 級対策⑥	JNEC 1 級検定に向けての実技練習
8	JNEC 1 級対策⑦ 筆記テスト	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 筆記テスト
9	JNEC 1 級対策⑧	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
10	JNEC 1 級対策⑨	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC 1 級対策⑩	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC 1 級対策⑪	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、コンテストⅡ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級検定内容確認 (筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	スカルプチュア①	クリアスカルプチュア 実技10本
5	スカルプチュア②	グラデーションスカルプチュア 実技10本
6	スカルプチュア③	グラデーションスカルプチュア 実技10本

7	スカルプチュア④	フレンチスカルプチュア デモ・実技
8	スカルプチュア⑤	フレンチスカルプチュア 実技
9	スカルプチュア⑥	フレンチスカルプチュア 実技 バーチャルフレンチスカルプチュア デモ
10	スカルプチュア⑦	スピードスカルプチュア 相モデルで10本
11	スカルプチュア⑧	スピードスカルプチュア 相モデルで10本
12	スカルプチュア⑨	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習
13	筆記試験 実技試験	筆記試験 実技試験
14	実技試験	実技試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、コンテストⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	稲富 愛 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン経営勤務、JNA本部認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする

7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする
8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイ デモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ 実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、コンテストⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技
6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル

7	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
8	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技③	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競い合い、諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することができる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬場 美奈	実務経験	○		
実務内容	美容室でネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営JNA本部認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し、目標を立てる事で技術向上を目指す。 モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する。
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト
6	アート①	チップ作成によるアート

7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート③	チップ作成によるアート
9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア⑤ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競い合い、諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することができる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケアⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成

6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインエクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインエクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	コンテストⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 早紀	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振返りと2級検定振返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシンを使用するのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー

6	フットケア④	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア⑥	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア（マシーン） カラー①	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア（マシーン） カラー②	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	コンテストⅡ・Ⅲ、ネイルアートⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ

6	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
7	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
8	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
9	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
10	フットケア（マシーン） マシーンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
11	フットケア（マシーン） マシーンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
12	実技試験①	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシーン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にも対応し、提供できる				
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	コンテストⅡ・Ⅲ、ネイルケアⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菅原 千絵美	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技
6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技

7	3Dアート（検定用）	検定用3Dアートに実技
8	エアブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える
9	エアブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート①	1級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にも対応し、提供できる				
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	コンテストⅡ・Ⅲ、ネイルケアⅡ・Ⅲ、検定対策Ⅱ・Ⅲ、ジェルネイルⅡ・Ⅲ、検定対策&スカルプチュアⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定用アート①	1級検定アートの実技
2	検定用アート② タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート③ タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する
6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ

7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作①	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する
9	作品制作②	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	2年間の総復習
12	卒業制作②	2年間の総復習
13	卒業制作③	2年間の総復習
14	卒業制作④	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-J		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-J		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける			
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる			
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	なし			
関連科目	エステティックカウンセリングⅠ-J・Ⅱ-J、アロマセラピーⅡ・Ⅲ、フェイシャル&ボディⅡ・Ⅲ ネイルケア&ネイルアートⅠ-J・Ⅱ-J、パーソナルヘア&メイクⅡ・Ⅲ、ヨガ・ピラティスⅠ・Ⅱ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	南城 知子	実務経験	○	
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う。また、スタッフの資格取得の講習、指導を担当している。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	

5	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける 	
6	サロンワーク技術練習		
7	サロンワーク技術練習		
8	サロンワーク技術練習		
9	サロンワーク技術練習		
10	サロンワーク技術練習		
11	サロンワーク技術練習		
12	サロンワーク技術練習・テスト		
13	サロンワーク技術練習		
14	振り返り		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークII-J		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークII-J		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングI-J・II-J、アロマセラピーII・III、フェイシャル&ボディII・III ネイルケア&ネイルアートI-J・II-J、パーソナルヘア&メイクII・III、ヨガ・ピラティスI・II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	

5	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ 	
6	サロンワーク技術練習		
7	サロンワーク技術練習		
8	サロンワーク技術練習		
9	サロンワーク技術練習		
10	サロンワーク技術練習		
11	サロンワーク技術練習		
12	サロンワーク技術練習・テスト		
13	サロンワーク技術練習		
14	振り返り		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅠ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅠ-J		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティスタイリスト検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティスタイリスト検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティスタイリスト検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・Ⅲ、アロマセラピーⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高松 真紀子	実務経験	○		
実務内容	トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系

5		カラダをつくる食事
6	カラダの内側から整える	バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7	Lesson1 カラダをつくる食事	腸を整えよう
8		カラダをあたためよう・腸活と温活
9		食事とアンチエイジング
10	カラダの内側から整える	
11	Lesson1 カラダをつくる食事	オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12		テスト 成績評価①
13	カラダの内側から整える	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14	Lesson2 カラダを休める睡眠	質のよい睡眠の条件 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ-J		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティスタイリスト検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティスタイリスト検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティスタイリスト検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・Ⅲ、アロマセラピーⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カラダの内側から整える	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
2	Lesson3 カラダを巡らせる運動	運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは? ストレスと上手に付き合うには

4		ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
5		
6	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)
7		美しいカラダを保つためのボディケア
8		スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
9	総合まとめ	成績評価①
10	カラダの外側から整える Lesson2	
11	ヘアケアで美しい髪	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
12	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
13		Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
14	総合まとめ	ナチュラルビューティースタ일리スト検定 模試 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・Ⅲ、サロンワークⅠ-J・Ⅱ-J、エステティックカウンセリングⅠ-J・Ⅱ-J				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高松 真紀子	実務経験		○	
実務内容	トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	振り返り
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (サイプレス・ジャーマンカモミール)
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ジャスミン・パチュリ)
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ブラックペッパー・ベチパー)
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ベンズイン・ミルラ)
6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (メリッサ・ローズオットー)

7	総合まとめ	成績評価① アロマ検定プレテスト
8	精油紹介①	トリートメント用 ブレンドオイル作り
9	精油紹介②	シアバタークリーム作り(バーム)
10		
11	精油紹介③	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12		
13	精油紹介④・総合まとめ	手作りせっけん・石けん素地・成績評価②
14		
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅢ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合格20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	精油紹介⑤	オリエンテーション 練香水作り
2		練香水作り
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価①

4		覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)
5		植物(エルダーフラワー・甘草・クコ)
6	ナチュラルビューティーに関わる植物	植物(クローブ・月桃・ごぼう)
7		植物(サフラン・しょうが・すぎな)
8		植物(セージ・タイム・チャ)
9		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)
10	ナチュラルビューティーに関わる植物	植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)
11		植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)
12		総合復習
13	筆記試験	植物図鑑より 小テスト
14	模擬試験	模擬試験 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエータ化粧品セット・タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅠ-J・Ⅱ-J、フェイシャル&ボディⅠ、サロンワークⅠ-J・Ⅱ-J、アロマセラピーⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩井 容子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論 (皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディープクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディープクレンジング 吸引	スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用方法 デモ・相モデル 理論含む

7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12		成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモンストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエーヌ化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅠ-Ⅰ・Ⅱ-Ⅰ、フェイシャル&ボディⅠ・アロマセラピーⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディ技術理論(生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
2	マッサージ復習	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
3	コンサルテーションシート	復習

4		デモスト・手技・拭き取り
5	下肢前面	相モデル練習
6		成績評価①
7	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
8		通し練習
9	アロマセラピーのある暮らし精油のプロフィール	香りのイメージ 安全の為の注意／イランイラン
10	アロマトリートメント(全身)	精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
11		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
12		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
13		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
14		成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ-Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ-Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェルⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菅原 千絵美	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
5	チップラップ実技	チップラップ実技
6	チップラップ実技	チップラップ実技

7	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	マシーンケア・オフ 講義デモ	ネイルマシーンを使ったケア・オフの技術を学ぶ
10	プレパレーション・オフ	プレパレーション・オフ技術を習得する
11	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェルⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする
2	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ

7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルI		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルI		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J・Ⅱ-J				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菅原 千絵美	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ	教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまでデモンストレーション
2	初級検定説明・デモ	初級検定説明・デモ
3	クリアカラー実技	ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ
4	ジェル初級検定実技①	初級検定内容を学び・技術を学ぶ
5	ジェル初級検定実技②	ジェル初級検定実技

6	ジェル初級検定実技③	ジェル初級検定実技
7	ジェル初級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	ジェル初級検定実技⑤	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	実技テスト①	実技テスト
10	実技テスト② 筆記テスト	実技テスト 筆記テスト
11	JNEC 2 級検定実技①	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	JNEC 2 級検定実技②	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	JNEC 2 級検定実技③	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14	JNEC 2 級検定実技④	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルII		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルII		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J・Ⅱ-J				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
2	JNEC2級検定実技①	タイム取りをして検定実技の練習を行う
3	JNEC2級検定実技②	タイム取りをして検定実技の練習を行う
4	筆記テスト JNEC2級検定実技③	筆記テスト タイム取りをして検定実技の練習を行う
5	JNEC2級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
6	ジェルネイル①	フレンチ・グラデーションデモ・実技

7	ジェルネイル②	フレンチ・グラデーション・実技
8	ジェルネイル③	フレンチ・グラデーション実技
9	ジェルネイル④	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技
10	ジェルネイル⑤	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
11	ジェルネイル⑥	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
12	ジェルネイル⑦	ジェルアート
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア & メイク II		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア & メイク II		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-J・Ⅱ-J				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小田中 恵美子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内にて、ヘアメイクとして5年勤務。パーソナルメイク講師歴15年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)

7	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア & メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア & メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ・Ⅱ、サロンワークⅠ-J・Ⅱ-J				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成

7	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル⑨	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル⑩	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑪	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅠ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 由美子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、ヘアメイクとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践

7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。
9	スチールメイク②	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
10	スチールメイク③	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成

7	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
8	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする
10	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
11	卒業制作①	卒業制作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作②	メイク練習
13	卒業制作③	卒業制作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作④	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	YOGAポーズ解剖図鑑 ヨガマット、フォームローラー		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる ヨガやピラティスのポーズを実施する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	サロンワークⅠ-Ⅱ・Ⅲ-Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高村 由美	実務経験	○		
実務内容	大手ヨガスタジオ勤務後、スポーツジムにてインストラクターとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点／違いについて学ぶ
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ／歴史、ヨガとエクササイズの違いを学ぶ (実技：基本姿勢の実践)
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的／肉体的な効果と精神的な効果・ヨガの実践方法／3つのプロセス、ヨガのポイントについて学ぶ(実技：基本姿勢からのアーサナ)
4	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果について学ぶ (実技：呼吸を意識してポーズの実践)
5	ヨガの瞑想	瞑想とは・瞑想のメカニズム/瞑想の効果、自分と向き合う/シャバーサナの必要性について学ぶ (実技：ヨガフロー)
6	チャクラについて	チャクラの場所と効果について学ぶ (実技：チャクラを意識したヨガ)

7	ヨガ筆記テスト①	テストの実施
8	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について学ぶ（実技：太陽礼拝）
9	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らしについて学ぶ（実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ）
10	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える（実技：ヨガフロー）
11	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
12	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
13	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
14	ヨガ実技テスト①	実技：ヨガフローを実施する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ピラティス大全 ヨガマット、フォームローラー		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	サロンワークⅠ-Ⅱ・Ⅱ-Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ピラティスの基本	ピラティスのルーツ／歴史、効果、目指すところ、マシンピラティスについて学ぶ（実技：基本姿勢について）
2	ピラティスの姿勢	姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢について学ぶ（実技：基本姿勢からのピラティス）
3	ピラティスの基本動作	ピラティスの代表的な動きを実践する（実技：基本動作）
4	ピラティスの呼吸法	深く呼吸する為様々な呼吸法を実践する（実技：お腹、胸、背中、脇腹の呼吸）
5	成績評価① 基本のスタートポジション	筆記テストの実施 スタートポジションの正しい姿勢を実践する
6	目的別ピラティスプログラム	初心者向けプログラムの実践

7	目的別ピラティスプログラム	姿勢改善プログラムの実践
8	目的別ピラティスプログラム	腰痛予防プログラムの実践
9	目的別ピラティスプログラム	お腹痩せプログラムの実践
10	目的別ピラティスプログラム	全身調整プログラムの実践
11	成績評価②	実技テストを実施する
12	背中メゾット	簡単エクササイズ方法の紹介・実践する（実技：背中エクササイズ）
13	部分エクササイズ	トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編について学ぶ（実技：集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編）
14	部分エクササイズ	トラブルの原因／くびれ、美脚、バストアップ編について学ぶ（実技：集中エクササイズ／くびれ、美脚、バストアップ編）
15	課題作成	エクササイズを調べ課題を作成する（実技：ヨガ&ピラティス）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、栄養学Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高村 由美	実務経験		○	
実務内容	大手ヨガスタジオ勤務後、スポーツジムにてインストラクターとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定をすることの意義 (P21~26)、自己分析 第2章 Q1~Q5について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6~Q10について学ぶ
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11~Q15について学ぶ

4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16～Q20について学ぶ
5		第5章 Q21～Q25について学ぶ
6	模擬試験①	第2章～第5章 成績評価① テストを実施する
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26～Q31について学ぶ
8	インスリンとGI値	第7章 Q32～Q34について学ぶ
9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35～Q40について学ぶ
10	模擬テスト	成績評価② テストを実施する
11	模試解説	模擬試験の解説を行う
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説を行う
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について学ぶ
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズムについて学ぶ
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的な使用方法について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、栄養学Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について学ぶ 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞について学ぶ
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロールについて学ぶ
3	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方について学ぶ

4	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキングについて学ぶ
5		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較について学ぶ
6	模擬試験	成績評価③ テストを実施する
7	模試解説	模擬試験の解説を行う
8	第6章 運動と筋肉と代謝（補足）	運動実践を行う
9	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返りを行う
10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成する
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成をする
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法の提案、 カウンセリング	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法の提案、 カウンセリング	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるスタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる 				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子 他2名		実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるスタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる 				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城 知子 他2名	実務経験			
実務内容					